



クボタ通信

第**130**期 中間
2019.1.1-6.30





SDGsを羅針盤として、 「グローバル・メジャー・ブランド クボタ」の 実現へ向けてフルスピードで邁進していきます。

株主の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
クボタ通信(第130期中間)をお届けするに当たり、ご挨拶を申し上げます。
当第2四半期累計(2019年1月1日~2019年6月30日)の業績につきましては、右記のとおりとなりました。
株主の皆様におかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りますよう心より
お願い申し上げます。

株式会社クボタ 代表取締役社長

不 殿 昌 俊

クボタグループが目指す社会価値と重なる
国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」



※「持続可能な開発目標(SDGs)」とは、2015年9月の国連サミットで採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに達成すべき17の国際目標。

130th First Half Digest

※ 第129期より従来の米国会計基準(U.S.GAAP)に替えてIFRSを適用しています。また、第128期の財務数値についても、IFRSに準拠して表示しています。

売上高

9,708億円
(前年同期比 +7.1%)

国内

機械部門、水・環境部門、その他の全部門で増収。

海外

トラクタや建設機械の好調により、機械部門が大幅増収。水・環境部門は減収。

営業利益

1,109億円
(前年同期比 +9.7%)

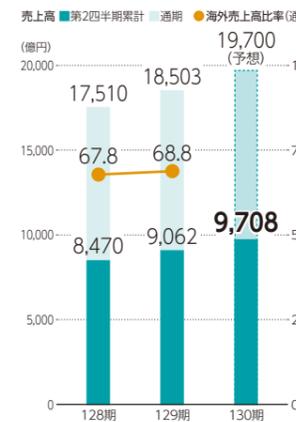
固定費の増加や原材料価格の上昇を、国内外での増収や米国の金利低下に伴う販売促進費の減少、値上げ効果などで補い増益。

親会社の所有者に帰属する 四半期利益

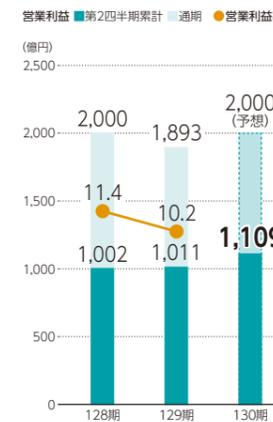
812億円
(前年同期比 +12.9%)

営業利益の増加により増益。

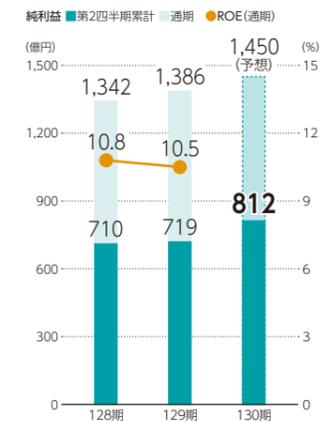
売上高・海外売上高比率



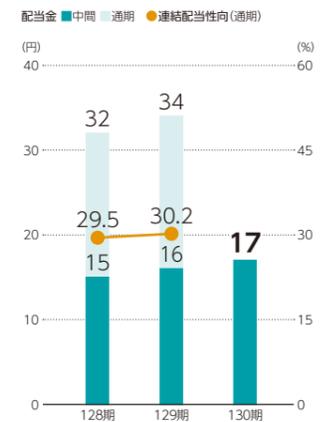
営業利益・営業利益率



親会社の所有者に帰属する 四半期(当期)利益・ROE



1株当たり配当金・ 連結配当性向



第130期通期業績予想

売上高 **19,700**億円

営業利益 **2,000**億円

親会社の所有者に帰属する当期利益 **1,450**億円

トラクタ事業のグローバル展開加速で食料増産に寄与

クボタはインドのトラクタメーカーであるEscorts Limited社と合併でトラクタ製造会社を設立いたしました。現地での生産を通じて台数ベースで世界最大規模のインド市場でトラクタ事業の成長を加速させていきます。

北米では、当社最大の170馬力より更に高馬力帯のトラクタの開発および生産をカナダのBuhler Industries Inc.社に委託し、順次市場投入し北米での大型トラクタ市場を開拓してまいります。



インドで活躍するマルチパーパストラクタ



170馬力の大型トラクタ

カンボジアで安心・安全な水の安定供給に貢献

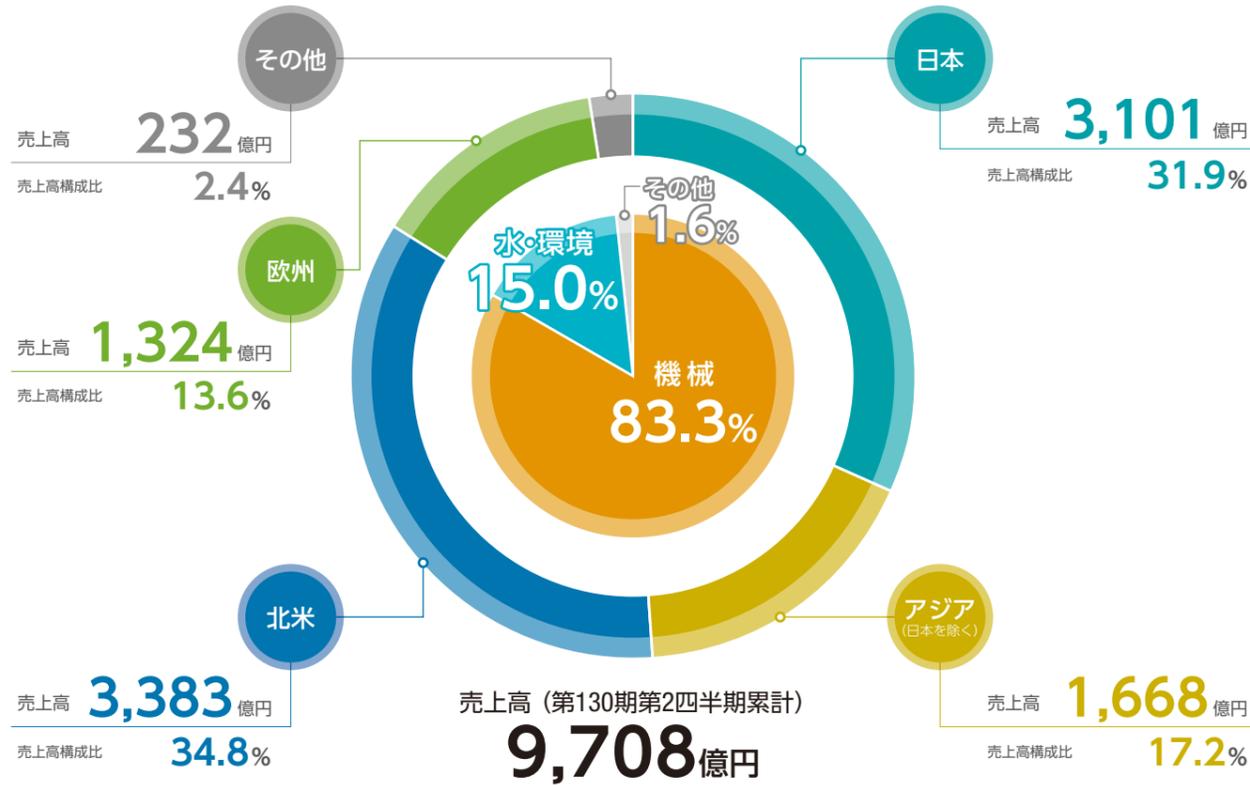
グループ会社の(株)クボタ工建は、カンボジア王国コンポントム州における上水道拡張事業を他3社とのコンソーシアムで受注しました。日本のODA案件で、水道施設の設計・施工から運営・維持まで一括で担うのは日本企業のコンソーシアムでは初めてとなります。

カンボジア政府は都市部での安全な飲料水へのアクセス率100%を目標に整備事業を進めていますが、コンポントム州都地域では上水給水率が41%にとどまり給水エリアの拡大が求められていました。



水道施設の完成予想図

事業の概況



機械

農業機械および農業関連商品、エンジン、建設機械

売上高	前年同期比
8,088億円	+7.7%

- 国内：農業機械および農業関連商品が堅調に推移したほか、補修部品、エンジン、建設機械も増加。
- 北米：一部地域での天候不順の影響はあったものの、底堅い景気に支えられ、需要は堅調に推移。さらに、昨年後半の出荷が当期にずれ込んだことや、建設機械などの新機種投入効果もあり、トラクタや建設機械が大幅に増加。
- 欧州：トラクタが伸ばしたものの、ユーロやポンドに対する円高の影響により円貨ベースでは減収。
- アジア：タイの農業機械や建設機械が増加したものの、中国のコンバインや田植機が低迷したことなどにより、アジア全体では前年並み。

セグメント利益	前年同期比
1,172億円	+7.8%

- 固定費の増加や原材料価格の上昇を、国内外での増収や米国での金利低下による販売促進費の減少、値上げ効果などで補い増益。

水・環境

パイプインフラ関連製品、環境関連製品

売上高	前年同期比
1,461億円	+4.1%

- 国内：パイプインフラ関連製品は素形材やスパイラル鋼管などの減少により微減。環境関連製品は、福島県双葉町での廃棄物処理施設の建設による売上が大幅増。
- 海外：中東向けのダクトイル鉄管やポンプが大幅に減少。

セグメント利益	前年同期比
98億円	+7.6%

- 原材料価格の上昇を国内の増収や値上げ効果などで補い増益。

その他

各種サービス事業等

売上高	前年同期比
159億円	+7.3%

セグメント利益	前年同期比
16億円	+46.1%

機械部門

TOPICS

新たな価値創造を目指し、イノベーションセンターを設置

農業、建設業などにおける新たな事業、製品、サービスの創出を推進する部門として「イノベーションセンター」を日本・欧州に設置しました。ベンチャー企業や大学、研究機関などと連携しながら、ICTやAIなどの先進技術を積極的に取り込むためオープンイノベーションを推進し、お客様の期待を超える新たな価値創造を目指してまいります。



農業機械の稼働管理サービス「MY農機」を提供開始

本年4月より、スマートフォンで農業機械の情報を確認できる「MY農機」のサービスを開始しました。複数の農業機械が同時に稼働する場合でも、「MY農機」を利用すれば位置情報や稼働情報が把握でき、作業実績を見ながら今後の作業計画を見直すことができます。定期交換部品の交換タイミングにアラートが表示されるため、不良を未然に防ぐこともでき、担い手農家の順調作業をサポートします。



「MY農機」の操作画面

水・環境部門

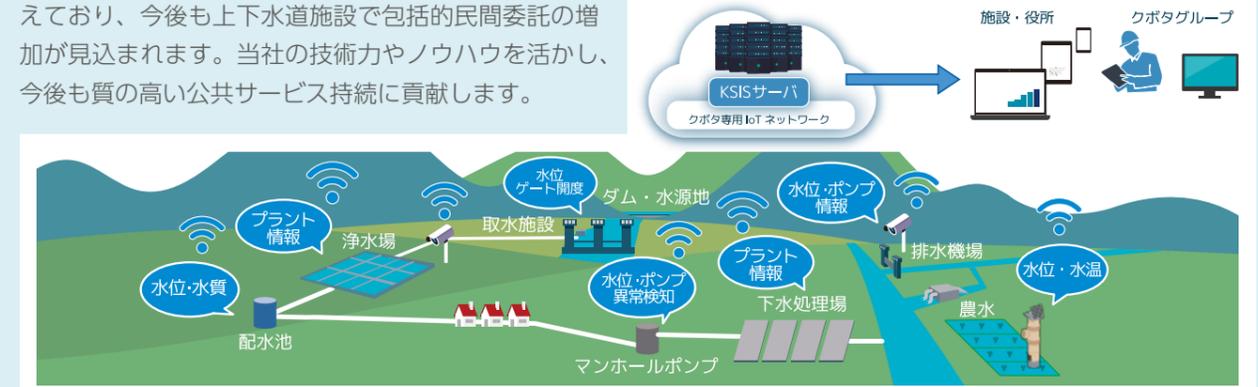
TOPICS

大阪府河内長野市の下水道施設包括的管理業務に参画

クリアウォーターOSAKA(株)・(株)日水コン・(株)クボタ共同企業体は、河内長野市の下水道施設包括的管理業務を受注しました。施設の維持管理においては、事後対応型から予防保全型へ転換することを目的に、当社独自のIoT技術である「KSYS」が採用されました。自治体は技術職員の減少や施設の老朽化など課題を抱えており、今後も上下水道施設で包括的民間委託の増加が見込まれます。当社の技術力やノウハウを活かし、今後も質の高い公共サービス持続に貢献します。

KSYS (Kubota Smart Infrastructure System) とは

水・環境インフラ施設を遠隔で監視・制御し、データの解析や診断を行うIoTを用いたサービスです。パソコンなどで施設の運転状況、水位、流量について常に確認することができ、故障など緊急時はメールで通知します。蓄積されたデータを用い、最適な修理更新の提案や設備の故障予知を行います。



ジャパンラグビートップリーグ 2019-2020

トップリーグカップ2019プール戦 全勝！ プールA1位を獲得しました。

1節 6.22[SAT] vs コカ・コーラ レッドスパークス WIN 43vs7	2節 6.29[SAT] vs 釜石 シーウェイブス WIN 39vs7	3節 7.6[SAT] vs 三菱重工相模原 ダイナポアーズ WIN 12vs7	4節 7.13[SAT] vs キヤノンイーグルス WIN 27vs21	5節 7.20[SAT] vs トヨタ自動車ヴェルブリッツ WIN 不戦勝
--	---	---	---	--



2020年1月からのリーグ戦も応援よろしくお祈いします！！

農業をもっと夢のある、元気な産業へ。

今、日本の農業は就農者の高齢化や人手不足、大規模化した農地の効率的な経営など様々な課題を農業をもっと夢のある、元気な産業へ。その実現に向けて、クボタは日本の農業を担う地域の人々と

地域と共に日本農業の課題に応える。

抱えています。

共にスマート農業を実践しています。今回の特集では課題解決を目指して挑戦しているミッションをご紹介します。

圃場水管理システムWATARAS

徳島の美しい水田を守るために

「どうしたら日本のこのきれいな山水、農村を残すことができるんやろう。水田をなくしてしまたら荒地になってしまうけん。」徳島県阿南市で農業を営む香東氏は問います。100ヵ所に分かれた大小さまざまな農地を、夫婦二人で経営しており、未だ手作業を強いられている水管理に日々手一杯だといいます。

徳島県の農地は、一つ一つが小さいことが特徴です。点在する小さな農地を多数管理する大規模土地経営農家で最も負担となるのは圃場の水管理です。水栓を開けるために圃場へ行き、水が溜まったと思われる時間にまた水栓を閉めに圃場へ行く。こんな作業を、100ヵ所の圃場で朝晩関わらず行います。昨年の西日本豪雨の際、警戒が呼び掛けられる中でも、多くの農家は圃場の様子を見て回ったといいます。



ご夫婦二人で農業を営む香東氏

機械事業と水・環境事業のシナジーで生まれた「WATARAS」で水管理の課題解決へ

こうした水管理の負担や無駄を無くすることができる手段として、圃場水管理システムWATARAS（ワタラス）に期待が寄せられています。WATARASとは、水田の水位・水温をスマートフォンやパソコンでモニタリングしながら、給水・排水を遠隔操作や自動制御するシス



青々とした稲が生い茂る美しい田園風景

テムで、クボタグループの(株)クボタケミックスの製品です。

昨年から徳島県でWATARASの実証試験が行われており、WATARAS設置圃場とこれまで通りの運用を行う圃場とで、作業量、米の収量や食味を比較しています。今年7月、県の普及関係職員や農業法人などが集まる中、実証の中間報告として、水管理に係る作業時間が大幅に削減できることが説明されました。

実証試験を主導する徳島県立農林水産総合技術支援センター 板東係長は「スマート農業を活用すれば、農業経験がない方でも参入できます。農業の担い手を確保し、少ない人数で多くの農地を管理できるようスマート農業にチャレンジしていきます。技術が産地で更に力を発揮できるようクボタと協力して検証し、もっと農家の負担を軽減していきたい。徳島県の美しい水田をこれからも守っていくために。」と力強く語ります。



徳島県での実証試験に使われたWATARAS
圃場の水位は常に3cmをキープするよう設定されている

自動運転農機

米を作りたい想い

今年6月に宮城県東松島市野蒜（のびる）地区で、宮城県主催のスマート農業実演会が開催されました。

ここは石巻湾に面しており防波堤沿いに田畑が広がり、東日本大震災津波では甚大な被害を受けた地域です。震災で水田が海水に浸かり、すぐに農業ができる状況ではありませんでした。そんな中、(有)アグリードなるせはいち早く復興に向けて立ち上がった農業法人です。

「米を作りたい」という強い想いで、震災の翌月から田んぼの除塩に挑戦し、わずか2か月で田植えができるまでに土壌を回復させ、米作りを再開しました。代表である安部社長は、「力強く稲が実る景色は、復興に向かう人々の表情を和らげ、力を与えた。」と当時を振り返ります。

復興からスマート農業先進県に

震災を機に宮城県の農業は大きく変化しました。震災後、農地を手放す農家が増え、その農地は大規模な組織経営に集約化されていきました。

農地の集約化が進む一方、農家の高齢化、人手不足によりますます農作業の省力化が求められ、それを解決する手段として、スマート農業に期待が寄せられていました。

「宮城県をスマート農業先進県に」と宮城県農政部の力強い宣言ではじまった今回の実演会は、宮城県・アグ



宮城県での実演会にて、
運転手が両手を離れた状態で小麦の刈り取りを行うコンバイン

リードなるせ・クボタグループなどが一体となり参加している「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」の一環として行われ、生産から出荷までの一貫体系の中にスマート農業技術を導入し、省力化、低コスト化、経営の生産効率向上について実証と普及を行っていくプロジェクトです。近隣農家や関係者など約200名が見守る中、無人トラクタが圃場を耕し、自動運転コンバインが小麦を刈り取りました。コンバインには、食味や収量を測るセンサーや通信ユニットが搭載されており、刈り取りながら機械の作業状況、小麦の食味・収量などのデータがモニターに映し出される様子を披露しました。

実演を見た近隣農家の方は、「震災後、仕事が少なかったため若い人が少なくなりました。スマート農業技術で、農業が“若者が憧れる産業”になれば、若い人たちが帰ってきてくれるかもしれない。」と期待を寄せていました。



地元メディアからの取材を受ける安部社長



実演会会場、奥に見えるのは石巻湾

株主様向け 施設見学会のご案内



当社は、株主の皆様にご理解を深めていただくことを目的に、株主様向け施設見学会を実施しております。

今回ご覧いただく施設は、玄米ペーストの製造工場と、クボタファームの農場です。玄米ペーストから作られた玄米パンや新しい栽培技術を使った高糖度トマトをご試食いただくほか、さつまいもの収穫体験も行います。この機会にぜひご応募ください。



開催日時

2019年11月28日(木)・
11月29日(金)
両日ともに10:00~14:00

場所

熊本県
菊池郡

応募締切日

2019年9月30日(月)
24時申し込み分まで

お問い合わせ先

〒556-8601 大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号
株式会社クボタ 総務部 株式グループ

☎06-6648-2200

営業時間
8:30~17:00
(土日・祝日を除く)



店頭にならぶ玄米パン



ぷりぷりの玄米パスタ

熊本玄米研究所概要

熊本玄米研究所は、クボタの販売会社である(株)中九州クボタが設立した施設であり、コメの消費拡大を目的に玄米の優れた機能性・栄養価をそのままペースト化する独自技術を確立しました。汎用性の高い玄米ペーストは、パンやパスタなど用途が広がっています。また、2014年にオープンした玄米パン専門店「コメノパンヤ元氣堂」では、玄米パンのほかグルテンフリーの玄米パスタも販売しております。

玄米を身近なものにしたい、日本の農村を元気にしたい。そんな想いからはじまった元氣堂。安心、安全、健康的な食生活を提案するとともにコメの消費拡大を目指し、日本農業の活性化に貢献していきます。

インターネットにてご応募前の確認事項をご覧いただき、ご応募ください。
皆様のご応募を心よりお待ちしております。

ご応募はこちら

https://www.kubota.co.jp/ir/sh_info/personal/tour/19-02.html



スマートフォンでも
ご覧いただけます

配当金のお受け取りは、便利な口座振込をご活用ください。

お受け取りには、下記1~3の3つの方法がございます。
2または3でのお受け取りをご希望される場合は、お取引のある証券会社等にお問い合わせください。

1 郵便局等でのお受け取り

「配当金領収証」を持参し、郵便局等で受け取る方法

2 証券口座でのお受け取り

各証券会社の証券口座で受け取る方法

3 銀行口座等でのお受け取り

ご指定の金融機関口座で受け取る方法
(個別銘柄ごとのご指定も可能です)



ご注意

お支払開始日から満3年を経過した配当金は、お受け取りができなくなりますので、お受け取り漏れのない口座振込を、ぜひご活用ください。

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月に開催

基準日 定時株主総会 毎年12月31日
期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年6月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行(株)
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行(株) 証券代行部
tel 0120-782-031(フリーダイヤル)

公告方法 当社ホームページに掲載

上場証券取引所 東京証券取引所

